

トマト育苗の記録と情報誌

第3号

編集

トマト生産部

2025.06.30



秩父別町のトマトジュースは、朝もぎの完熟したトマトで、作られています。一口飲むとトマトを丸かじりしたような、自然な美味しさが口の中いっぱい広がります。完熟トマトのあの美味しさを、ぜひご賞味ください。

はじめに

ハウスの中は緑の苗が、白い容器の中で元気に育っています。

今回は、前回の続きで育苗センターから苗を運びながら、発泡スチロールの容器に移植していく様子を紹介します。

今回の育苗システムは、「JA全農式トロ箱養液栽培システム」の操作に、悪戦苦闘している様子を報告します。

情報誌を作っている場合でないかもしれません

5月19日 茎の太さが12mm 順調です
編集 てるりん



トマトマメ知識

トマトは、ナスやジャガイモの親戚です

トマトは、ナスやジャガイモと同じナス科ナス属の植物です。トマトの故郷、つまり原産地は南米のアンデス高原とされています。アンデスの野生種トマトは、時期や手段は不明ですが中央アメリカのメキシコに伝わり、そこで食用として人間に栽培されるようになりました。ちなみに「トマト」という呼び名は、メキシコ先住民の言葉、ナワトル語の「トマトル」が由来と言われています。トマトルの意味は「膨らむ果実」。もともとは食用ホオズキを指す言葉でしたが、形がよく似ていて、同様に料理に使われるトマトも同じ名前と呼ばれるようになったようです。

5月2日

前日に土入れ作業と、苗箱を並べ終えることができました。

今日は、ハウス内の苗に水と栄養を送るホースの設置作業行いました。

これって、水道屋さんが行う水管工事かなって思う仕事を素人がやっています。



この後、乾いた土に灌水作業を行います。

大量の水を箱の中にいれます。

容器の中に均等に水をかけます。

この作業で、に苗の根の生育が決まります。



5月3日～4日

連休中でしたが、灌水用のチューブの設置と事前の土全体への散水を行いました。チューブの接続も終わることが出来ました。

5日・6日 トマトハウス作業は休業しました。

5月7日

5月8日のトマトの植え付け準備を行いました。配管の固定や、肥料用タンクの設置・土嚢を使っての固定を行いました。



5月8日

今日は、朝から定植作業でした。役場から数人とトマトスタッフ数人で、行いました。

私は、自動灌水用のパネルの説明を理解するのがたいへんでした。

5月9日

先日定植が終わりました。灌水は自動で動きま液肥の用意をしました。

溶けにくい粉を溶かし、指定の濃度で作りました。

二日目から、水と液肥を苗に与えることが出来ました。



定植作業

この日は約10人のスタッフで、定植を行いました。役場から、4名のお手伝いとトマトスタッフで育苗センターから、車2台で運びながら植えていきました。

9時から行い、午後2時過ぎには植え終わりました。とても暖かな日で、苗にはとても良い日でしたと思います。

私は、植え付けより灌水の設定と液肥の作り方の講習を受けていました。



植え付け後、自動灌水が始まりました。液肥は次の日に配合し、午後に灌水で液肥の混入ができました。液肥は二種類のを200ℓ×2 400ℓ作りました。

この後、肥料の量を増やししながら、水に混入しながら、灌水していきます。

5月14日

植え付け後、数日が過ぎました。ハウス内の片づけを行ったり、休憩用のハウス内の整備を行いながら、脇芽取を行いました。

ハウス中央の電気トラブルで、電源が入らず自動ビニールの巻き上げと換気用の装置が動かないことが、前日の夜から朝にかけて発生しました。

その時は原因不明で慌てましたが、いじっている間に動くようになりました。しかし、原因が不明のため安心はできませんでした。

5月15日

この日、14時からハウス設備関係者が集まり今後のことについて話し合いました。

この日幸いにも町内の電気屋さんが来て電気トラブルの原因を再度見に来てくれました。

おかげで、原因が解り安心しました。

ハウス入口の7センチの段差も問題になり、もっと下げて、トマトの運搬しやすいようになります。少しずつですが、改善されて行っています。



5月16日

植え付け前に土を保温していたポリシートを乾かして、次年度も使ことが出来るように、乾かしました。45mのシートが9枚を片付けました。

5月17日

ハウス周りに採石が多く散らかっていました。今後の草刈り作業を行いやすくするために石拾いを行いました。とても綺麗になりました。

ハウス内の周りには、草が伸びてきました。除草シートが敷かれている所には草は、ありませんが、それ以外の部分から草が出てきました。この後、注意をしながら除草剤を撒いていきます。

5月18日

トマトの苗は、30cmを超えたものも出てきて、花が3個前後付いているものが見えてきました。この後トマトの花にホルモン剤を散布して行きます。

秩父別町交流体験農園「なつみの里」

・市民農園概要



秩父別町では、都市と農村の交流を拡大するため、秩父別町交流体験農園「なつみの里」を整備致しました。

「滞在型」や「日帰り型」の市民農園で野菜づくりや花づくりを楽しみ、自然や人とのふれあいを深める施設です。

お問い合わせは、株式会社秩父別振興公社（秩父別町温泉ちっぷ・ゆう&ゆ内）

電話：0164-33-2116（火曜日から金曜日、10時から17時まで）

5月25日

今日の朝ハウス内のトマトを見ていたら実が成っていました。



最後まで読んでいただき、ありがとうございます。次回第3号の発行は、7月31日を予定しています。